

# ドナウ通信

## 目 次

着任の御挨拶	田中 義具大使	2
大使館からのお知らせ		3
1994年度会計報告		4
ハ日経済クラブ主催・各国対抗 テニストーナメント		5
室内ゲーム大会報告		6
本年度第1回ソフトボール大会御案内		7
補習校便り		8
邦人留学生コンサート		9
<随想>		
ドナウ河紀行	馬場 勝久	9
フェリヘジ空港での 現金チェックにご注意	盛田 常夫	11
掲示板		14

# 着任の御挨拶

田中 義具

私は去る三月十三日当国に着任し、ハンガリー政府の特別の取計らいで、翌十四日にはゲンツ大統領に対し信任状を奉呈することができました。ただし、諸般の事情から、未だブダペストには実際には二週間程度しか滞在していません。皆様の多くの方々は、直接お目にかかってゆっくりお話をする機会にも恵まれておりませんが、取敢えずこの紙面をお借りして着任の御挨拶をさせて頂きます。

当国に着任する直前は、ジュネーブで軍縮の仕事とにたずさわっており、当地に来た後もまだ完全にはこの仕事と縁が切れずにあります。四十年程前に私が外務省に入ってから長年担当してきた分野は、旧共産圏の仕事でした。そうした関係もあって当国がまだ旧共産圏の一員であった時代に、二度

程ブダペストを訪問したことがありません。当国は旧共産圏体制の下にあって、一九五六年の体験をふまえつつ、当時すでに国内の自由化が圏内では最も進んだ国になっていましたが、当地を訪れた強烈な印象として、この国が共産圏の国でなくなりさえすれば、どんなに良い国になることだろうかと感じたことを良く覚えています。そのような時代がまさか自分の生きる時代に来るとは当時どうしても予想できなかっただけに、こうして今や完全な独立と自由を謳歌する当国に、大使として在勤することになったのは何か夢のような気持ちもします。

この国が旧共産圏のくびきから解放されてから五年余りがたちますが、半世紀近くにわたり旧共産圏体制に組み込まれてきたことの影響は大きく、ハンガリー国民が真の意味で自由と繁栄を享受できるにはなお時間がかかると思います。こうした当国の自由化、民主化への転換過程を支援していくことは、わが国の重要施策でもあります。

私は個人的にも、かつて色々と苦勞した旧共産圏体制の終焉をこの国で見届けたいとの気持ちも強く、全力をあげてこの重要課題に取り組んでいきたいと思っています。

この国の体制転換は、極めて広範な分野にわたる変革であり、大使館が関与できる分野は自らその一部に限られてきます。当国のこうした歴史的転換に少しでも多くの力を貸していこうとすれば、広く各界で御活躍の在留邦人の皆様方の御協力も得ることが不可欠と考えます。今後とも皆様方とは良く御相談しながら、この大事業にわが国としてどのような協力が可能かを引き続き探求していきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

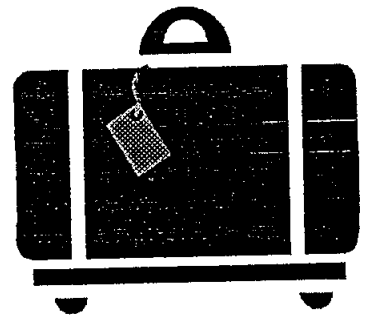


最近の日本人被害事件

(1995年5月1日現在)

最近ハンガリーでは、経済事情が厳しくなっていることもあり、在留邦人や日本人旅行者がスリその他の被害に遭うケースが増えています。最近の被害の概要は次のとおりです。これから夏の観光シーズンにかけて日本人の被害がさらに増加することが予想されますので、くれぐれもご留意下さい。

・地下鉄、バス、電車等の中でスリに遭う例が多く、過去一年間に数十件発生。また地下鉄の中で集団スリ・グループに取り囲まれ、財布や旅券を取られるという悪質なケースも発生している。また今年の4月末には西駅近くで警察手帳らしきものを見せた3人組の男にポディーチェックを受け、財布の中から3000ドルを抜き取られたケースも発生している。

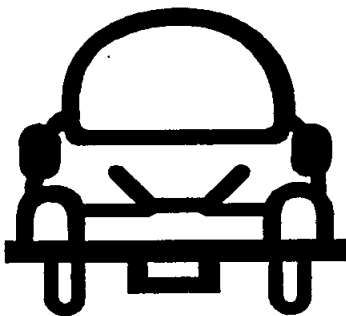


・有名ホテル等でアタッシュ・ケースごと盗まれた例は過去1年間に3件発生。特に目立ったケースとしては空港商用VIPルームで在留邦人が客を接待しているすきに、客のアタッシュ・ケースが盗まれた事件があり、空港の商用VIPルームという隔離された場所でもこのような盗難事件が発生している。

・日本人男性旅行者がイタリア人と称する男から、「日本大使館に査証申請をしていて、旅券を預けているものだから安心してくれ」等と声をかけられ現金(約15万円)をだまし取られた。

・年末年始にかけて在留邦人の車(ドイツ車、日本車)がおのおの盗難に遭っている。(ハンガリーでは年間約1万台の車の盗難があり、1日当たり30〜40台が盗まれている。特にドイツ車の車が狙われやすいが、日本製自動車も盗難の対象になっている。)

・今年3月、ドイツに在留中の邦人が自家用車(ドイツ車)でブダペストに来訪し、宿泊先のホテル従業員より、車は路上に駐車させておいても安全だといわれ、ホテル前の路上に駐車させていたところ、翌早朝、車がなくなっていた。



## 1994年度 会計報告

1994年度ハンガリー日本人会運営に係わる会計につき、収支概要並びに予算・実績対比につき以下の通り御報告申し上げますのでよろしく御査収願います。本報告につき御質問のある場合、お手数ですが事務局宛てお問い合わせ頂きたくお願い申し上げます。

### 収支概要

#### [収入の部]

	DEM	HUF	USD
年会費(個人) (商工会より)	31,900.-	104,000.-	0.-
銀行利息	721. <sup>71</sup>	5,334. <sup>60</sup>	0-
遠足臨時会費		244,400.-	0.-
総会臨時会費		393,000.-	0.-
福引収入		122,500.-	0.-
DMよりFtへ換金	△ 20,894. <sup>01</sup>	1,425,180.-	0.-
雑益		76.-	
合計	11,727. <sup>70</sup>	2,294,490. <sup>60</sup>	0.-

#### [収支の部]

	DEM	HUF	USD
93年度繰越金	21,206. <sup>32</sup>	108,568. <sup>86</sup>	185.-
94年度収入	11,727. <sup>70</sup>	2,294,490. <sup>60</sup>	0.-
合計	32,934. <sup>02</sup>	2,403,059. <sup>46</sup>	185.-
94年度支出総額	13,440. <sup>79</sup>	2,206,797. <sup>20</sup>	0.-
次年度繰越金	19,493. <sup>23</sup>	196,262. <sup>26</sup>	185.-

### 予算・実績対比

#### [総予算額]

#### [実績]

映画会	DM. 1,550.-	DM. 1,546.-
演奏会	DM. 6,000.-	DM. 3,065.-
遠足	DM. 8,400.-	DM. 8,942.-
ソフトボール大会	DM. 2,000.-	DM. 2,098.-
運動会	DM. 4,000.-	DM. 3,904.-
総会	DM. 16,000.-	DM. 16,900.-
ドナウ通信	DM. 2,800.-	DM. 2,289.-
事務局費	DM. 7,200.-	DM. 6,874.-
その他(運医医研)	DM. 500.-	DM. 643.-
合計	DM. 48,450.-	DM. 46,261.-
	(日本人会負担額 DM. 35,350.-)	(日本人会負担額 DM. 35,022.-)
	(臨時会費等収入 DM. 13,100.-)	(臨時会費等収入 DM. 11,244.-)

備考：本会計報告については1995年2月度ブダペスト日本商工会例会にて御承認を得ております。

# 八日経済クラブ主催・各国対抗テニス

## トーナメント

日本チーム団体及び個人ベア優勝

幹事 早崎 勉

八日経済クラブ主催第二回各国対抗  
テニストーナメント(ダブルス戦)が  
3月4日(土)、MAGYAR KABEL

SPORTLEIPにて開催され、今年の日  
仏、ハに加え米国も参加の四カ国対抗  
となり、総勢24ベア/48人で熱戦が繰  
りひろげられました。当日本チームは  
各ベアとも即席のベアではありまし  
たが、それぞれが息のあったところを見  
せ、又日本チームメンバー、及び応援  
に駆けつけて頂いた方々の声援を受け  
大健闘。ダブルス戦では、ベスト8に  
三組が残り、決勝では佐々木(丸紅)  
上月(伊藤忠)が、仏N.O.1ベアを  
6-3で破り、優勝しました。

ベスト8以上の各ベアのポイント及び  
敗者戦のポイントの合計で決まる団体  
戦も、やはり日本チームが圧倒的強さ  
で昨年続き、優勝しました。

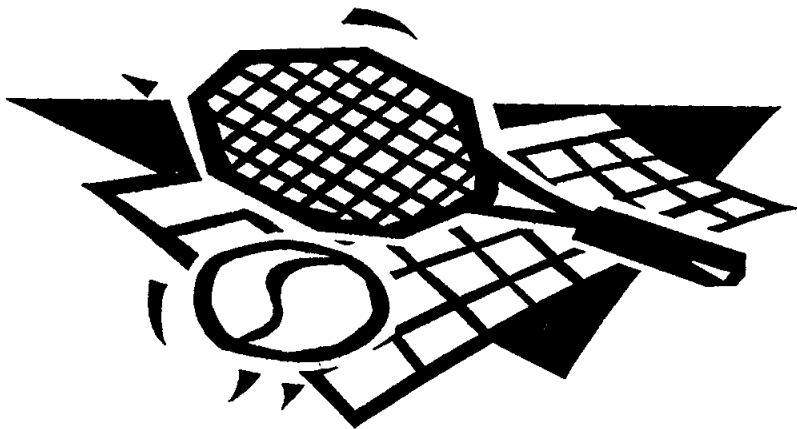
出場者は以下の通り..

(J/V名及び敬称略)

佐々木(丸紅)・上月(伊藤忠)  
鈴木(マ鈴木)・石崎(協和発酵)  
早崎(三井物産)・庄司夫人  
(伊藤忠)

山崎(協和発酵)・渡辺(伊藤忠)  
古屋(兼松)・木村(長期銀行)  
市川夫人(丸紅)・佐々木夫人  
(丸紅)

出場者のみならず、応援に駆けつけて  
来て頂いた方々、及び、ご夫人の出場  
の間、家庭を守り、或いは子供の世話  
をして頂いたご主人方に改めて感謝の  
意を表します。



# 室内ゲーム大会報告

日本人会レジャー理事

下川 義隆

去る3月25日(土)午後1時より、日本人会初の室内ゲーム大会が行われました。

ゲームは麻雀、カラオケ、各種室内ゲーム(神経衰弱、ババ抜き、五目並べ、魚ツリ、オセロ、ウノ)、各参加者大変盛り上がりて頂きました。ちなみに参加者は麻雀24名、その他ゲーム36名でした。

麻雀では、多数の女性も参加頂き、普段武骨な男性ばかりの麻雀に華を添えて頂きました。又、ある特別幹事には参加したいのを我慢して、時間の調整、参加者の調整、当日の司会と大活躍して頂きました。

ゲームの方では、子供達を中心に、お母さん方にも参加頂き、各ゲームの総合得点を競うゲーム方式で行い、賞品も子供達の独占、親も子供に混じっ

て、普段やらないババ抜き、おもちゃの魚ツリ等、楽しい1日を過ごして頂きました。

カラオケは、皆さん恥ずかしいのか又、子供達用のソフトが用意できなかった為か、最初は盛り上がりがなく、幹事自ら歌ったり大変でしたが、次第に盛り上がり、演歌あり、ヨードルあり、デュエットありと最後は盛り上がってきました。

審査の方は、面白い、場を盛り上げた、自己満足に浸っていたを基準に審査しましたが、最終的に審査員の独断により一番たくさん歌った人が優勝となりました。

又、各ゲームとも、商工会各社よりたくさん賞品提供があり、参加賞も提供されたので全員が賞品を手に入れました。

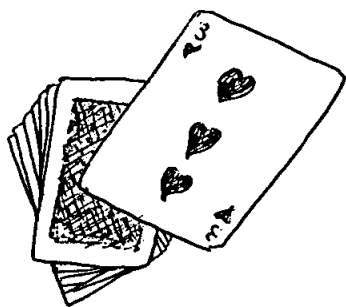
日本人会も、春、秋にはたくさん行事が有りますが冬の行事がなく、今回の大会が冬の間の新しい行事のモデルになれば第一回目としては大成功と

思っています。

今回が初めての試みでしたが、商工会各社の賞品提供、大使館より飲み物の提供、個人的にもゲーム機材の貸し出しなど、関係各位の協力により、盛り上がりのある大会とすることができました。

次回以降も、日本人会の冬の行事として定着することを願ひ、協力頂いた方々にはこの場を借りて御礼申し上げます。

尚、次回レジャー部では6月25日に恒例の遠足を予定しています。今年も幹事一同おもしろい企画を用意致しますので、皆さん奮ってご参加下さい。



# 本年度第1回ソフトボール大会御案内

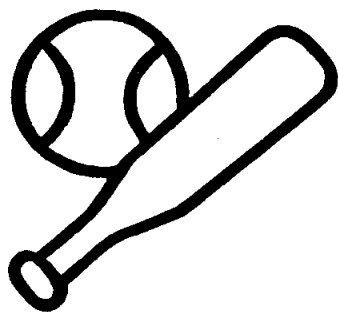
ハンガリー日本人会会長

丸山 和正

日本人会 運動部理事

大谷 南朗

恒例となりましたソフトボール大会  
(本年度第1回目)を下記の要領で行  
いますので、会員の皆様方の御参加を  
お待ちしております。



①日時…1995年5月28日

(雨天の場合は中止、順延なし)

9時30分集合、10時試合開始、

15時頃終了予定

(3) (\* ) 大使館/学校/青年協力

隊/一般チーム

(4) 伊藤忠チーム

(5) スズキAチーム

(6) スズキBチーム

②場所…オーブダ・シゲット公園内

野球グラウンド 奥

(バッチャーニテール駅よりセンテ  
ンドレ行き郊外電車に乗り、5つ目の  
PILATORIA 駅下車 徒歩5分。)

昨年10月の大会と同じオーブダ島の奥  
の広場)

④試合方法…

(a) 6チームでのトーナメント方式

(敗者戦も含む1チーム最低2試合)

(b) 1チームの人数は10~15名、足  
りない場合は他チームからの移籍可。

(c) 各チーム女性の最低1名参加。

(b) 1試合7回まで、但しMAX 60分

勝負、その他は現地説明。

③参加予定チーム (\* ) 代表

(1) 商工会Aチーム (11社)

兼松、キャノン、

(\* ) さくら銀行、ソニー、竹中

豊通、日製、日電、ブリジストン

丸紅、三井

(2) 商工会Bチーム (12社)

協和、JETRO、住商、大和

長銀、(\* ) トーメン、ニチメン

野村、古河、ホンダ、松下、三菱

⑤景品：優勝チーム、2位、3位チ  
ーム

⑥日本人会会費…会費未払いの方は、  
事務局(酒井)で、当日受け付け致しま  
す。

⑦その他…飲み物・軽食(おにぎり)  
は各チーム15名分程用意致します。

三月は別れの季節、四月は出会いの季節と言いますが、補習校でも、涙の卒業式、退任式、そして四月に期待に胸ふくらませた入学式と気持ちも新たに新年度を迎えました。

本年度は新小学一年生五人を新しく迎え、小学一年生から中学三年生まで計四十七人でスタートしました。

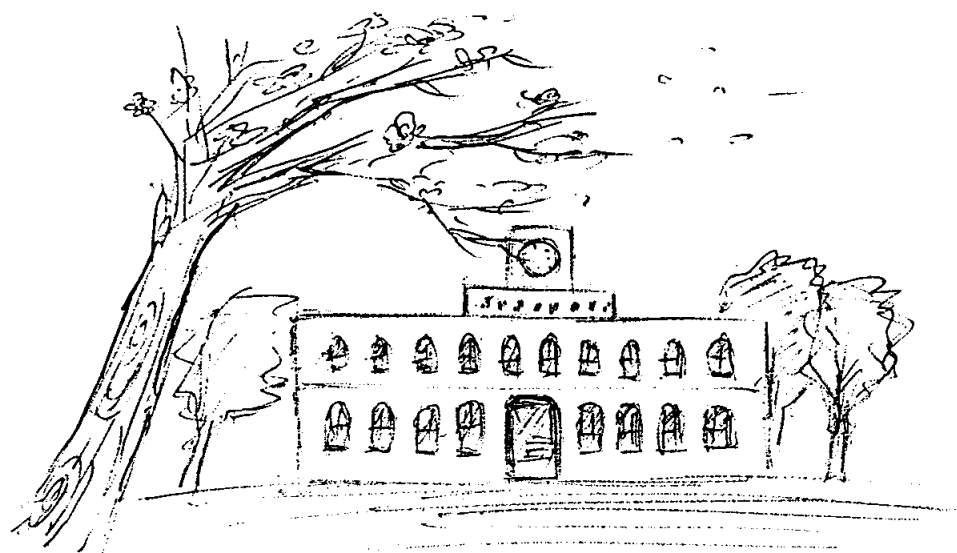
現在、子供達は新しい学年にもすっかり慣れ、新緑の中、元気に補習校に通ってきてくれています。皆それぞれに一つ上の学年になった自覚もあってか、内面的にも一回り大きくなったように感じられます。

二月から、子供たちに時間と心のゆとりを持ってもらう目的で、登校日を今までの週三回から週二回、期間限定で変更し、授業を行っています。土曜日は三月から引き続いて四年生以上の自主学習の日ですが、講師の先生方の

それぞれの得意分野（体育、美術、音楽）について指導をうけている子供達も多く、保護者の方が希望者に書道を教えて下さったりと、バラエティーに富んだ学習が展開されています。

五月八日（十三日）は、授業参観週間で普段の授業の様子を保護者の方々に見ていただきました。いつもと全然変わらない子、いつもより張り切る子、逆に大人しくなってしまう子と様々なタイプの子供がいましたが、我々教員も少し緊張させられた一週間でした。

五月二十日（土）は特別活動日として社会見学を予定しています。今回は小学生と中学生がそれぞれ別れて、小学生は地下鉄博物館、郵便博物館、聖イシュトヴァーン・バジリカの見学、中学生は王宮のナショナル・ギャラリーの見学へ行く予定です。心地好い季節の中、ハンガリーならではの何かを発見してくれたら、と期待しています。





# 月邦人留学生コンサート

時：1995年6月3日(土)

15時30分開演

於：フェーセク・クラブ

Bp. VII. Kertesz u. 36.

主催：ハンガリー日本人会

後援：日本大使館

プログラム

1) 関 裕子(ピアノ)

ショパン：バラード 作品23番

ト短調

2) 三輪 恭子(ピアノ)

クライブ・ポラード(ピアノ)

ラヴェル：マ・メール・ロア

3) 紫垣 英二(ピアノ)

ベートーヴェン

ピアノソナタ第28番

作品111 ホ長調

4) 長瀬 加奈子(ピアノ)

ショパン：幻想ポロネーズ

5) 古口 友子(ピアノ)

山崎 早香栄(ピアノ)

サン＝サーンス：動物の謝肉祭

6) 松岡 淳(ピアノ)

ロドリゴ・ブシユカーシュ

(ヴァイオリン)

ブラームス：ピアノとヴァイオリンの為のソナタ

第3番 作品108

二短調

入場無料・休憩時間に軽いお飲み物を用意致します。



## ドナウ河紀行

馬場 勝久

「五月から六月にかけてのブダペストは、甘ずっぱいアカシアの香りが街いっぱいには漂い、ポプラの綿毛が風によって吹雪のように舞う。「ドナウの女王」が一段とかぐわしさを増し、艶やかさを加えるのもこの季節である。」

これは、岩波新書「ドナウ河紀行」の一節である。

私事だが、ハンガリー駐在の辞令を受けて、どんなところか、と希望と期待(不安は無かった?)をもって赴任してきたのが昨年5月。まったくもってハンガリーに関する知識は皆無に等しく、ブダとペストが一緒になってきた街であるとか、ましてや、週末に延べ8時間もテニスができる環境にあるとは想像だに出来なかった。

出発直前に本屋に駆け込み、とりあえずハンガリーに関する書物を手当たり次第に購入し持参したなかにこの「ドナウ河紀行」が含まれていたのである。ついでに言うと、持参した中でこの本が秀逸である。或る本は半分の読まないうちにつまらなくて積読になり又、或る本は就寝の前ベッドで3-4行も読めばぐっすり眠れるという眠り薬になるなかで、この本は読むほどにどんどん引き込まれもう何回も読み返している。

冒頭のくだりは、五月赴任時の小生のブダペスト印象とあまりにもピッタリで、これは良い所に駐在になったと嬉しく思ったことを強く覚えていた。

恐らく既に読まれた方も多いかと思うが、ご紹介したい。

本書は紀行文の形をとっており、中欧・東欧の経済、歴史、文化に深い係わりをもつドナウ河に沿って、その源流である「黒い森」から、終点の「黒海」まで約二千九百キロに亘って沿岸

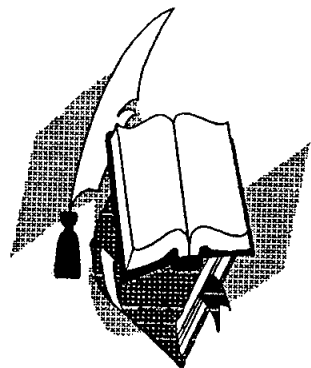
の国々や都市について記述している。それは、勿論それら都市の単なる紹介や説明に留まらず、歴史的背景、都市文化にまでふれている。そしてその底流にあるのは共通のドナウ意識でありドナウ世界感である。その意味ではこの本はいわば国や都市を紹介する観光案内書であり、史実・いわれを述べる歴史書であり、且つ優れた文化論でもある。

このように書くとなにやら読むのが面倒な気難しい本に聞こえるが、全くそうではない。難しそうな内容を易しい言葉で、それでいて、一字一句に気配りがあるように思われ、著者の豊富な知識、高い調査研究能力もさることながら、豊かな表現力、感性にも優れていることが感じられる。

人は書物を読もうというときそれは何を期待するか、については勿論千差万別である。好奇心、学究目的、実用知識、リラククス、退屈しのぎ、ベストセラーだから、そして眠り薬……

この本に関してはまさに好奇心、駐在するハンガリーや周辺の国々はどんな所か、に始まりその歴史や文化の背景についての知識欲を適当に満たしてくれる。小生のように、予備知識ゼロの世界にいきなり放り込まれた者にとって、まずは自分の置かれたところはどうんな所か、を知る為の教科書としてはこの上ない入門書であろう。興味があれば更に詳しい専門書を読めば良い。

この本を読んでいるうちに、いつか五月から六月にかけてのポプラの綿毛が舞う頃にドナウ河に沿って歴史と文化を訪ねる旅をしてみたいとひそかに思う次第である。出来ればハンガリーのかわい娘ちゃんと一緒に……



# フエリヘジ空港での

## 現金チェックにご注意

盛田 常夫

最近、空港での外貨所持について、日本人を含めたアジア系の旅行者に対して厳しくなっています。いくつかの事例を紹介し、対処の仕方について経験をお知らせします。

### △外貨所持チェック▽

典型的な事例は、出国に際し、外貨の所持を改めるといふ名目で個人の財布を開かせ、現金をカウンターに並べて外貨持ち出し許可の有無を調べるといふケースです。当地に長期に滞在する邦人は、ハンガリーの外貨規制に従ふ必要はありませんが、これまで事実上、そのことは問われないのが普通でした。ところが、アジア系民族の流入や旧ソ連の諸国からの流入に伴い、とくにアジア系国民にたいする外貨所持チ

ェックが厳しくにおこなわれるようになりました。

### △欧米人にはチェックなし▽

一方、欧米人に対しては財布を開かせ、現金を並べるといふような失礼なやり方をとっておらず、これまで通りフリーパスで行かせています。最近の事例は、バスポートで日本人であることを確認した上で、財布をチェックをおこなっていますから、大量流入した中国人をチェックするといふ名目で行っているものではありません。

### △強く抗議すると戻す▽

これまでに事例では、個人の財布をチェックするとは無礼ではないか、クレジットカード時代に現金チェックするとは時代錯誤と厳しく抗議したケース、係員が没収するといふ態度に出たために責任者を呼べと厳しく抗議したケースでは、最終的に現金はその場で戻されています。

ところが、おとなしく現金を見せ、

係官の言うがままにしていると、200ドル以上の所持金は預託扱いになって、再度入国するまで戻りません。

### △法令ではどうか▽

確かに、現金200ドル以上の持ち出しには外貨持ち出し許可が必要になっており、銀行から外貨を下ろす時に持ち出し許可の文言を添付してくれというところ、それを払い出し書に追加記入してくれまます。従って、大きな現金を持ち出す時には、この引きだし証明書を保持することが重要です。

### △慣行はどうか▽

法令ではそう規定されていても、実際上、外人には適用されていないのがこれまでの慣行です。先進諸国の国民にたいして、財布の中に詰まっている現金の額を詮索しても意味のないことは明らかだからです。クレジットカード時代に、財布の中のお金を調べるなどという野暮なことは不必要だからです。

ハ大蔵大臣、通産大臣、内務大臣に抗議文V

私自身、3月始めの旅行に際して、ここ16年間の旅行で初めて財布のチェックが行われました。この様なチェックはロシアでも行わないこと、クレジットカード時代にこの様なチェックは unnecessary ばかりか、大変失礼であることとを指摘し、最終的に現場に上司が返還を指示した経緯があります。そのときの所持金は2000ドルで、持ち出し許可書は保持していませんでした。

このことがあった後、税関を管理している大蔵大臣、観光に責任を持つ通産大臣、入国管理を司る内務大臣に対して、不要で失礼な財布のチェックを止め、係官の対応をより文明的であるように改めるべきと抗議文を送付し、さらにフェリヘジ空港の入国管理ボックスの廃止を提案しました。

ハ再度、首相に抗議V

抗議文の返事はフェリヘジ空港の税関副所長から来ました。それによれば

この様な不満はこれまで税関に届いておらず、係官は欧米並みの対応に心掛けており、その様な失礼はないはずという答えが届きました。

それに対して、具体的な事例を4つ上げ、再度、3大臣と税関副所長に抗議文を送付するとともに、ホルン首相宛に、税関の対応のみならず、入国管理ボックスのような旧体制時代の遺産を速やかに廃止することを提案した書簡を送付しました。

ハ他国ではどうかV

すでにチェコ、ポーランドでは入国管理のボックスは廃止され、オープンデスクを採用して、国の玄関での印象作りに努めています。モスクワの空港ではすでに1992年にオープンデスク方式に替え、最近では入国管理を男子係官から婦人係官に替えました。これはオープンデスク方式でも、男子の係官が入国審査に際して金銭やたばこを要求するケースが生じたからです。

このように、他の諸国では入国に際

して外国人旅行者の印象を良くする措置を講じているのが最近の動きです。ところが、ハンガリーでは、依然として旧体制の入国管理ボックスが残されているだけでなく、無礼な所持金検査などを平気でおこなっているのです。

ハ入国に際しての注意V

入国審査官は税関とは別の部署に属していますから普通現金チェックは行ないませんが、たまに所持金を聞いてくる場合があります。答えないとやはり財布のチェックを行う事があります。3年ほど前、係官がふつうの白紙を1枚出して、そこに所持金を書けというので、「ロシアのような外貨所持明細書があるのならそこに書いても良いが、そんな紙切れには書けない」というと、別の係官が寄って来て、議論をしたいのなら行列の最後に着いてくれというのです。ハンガリーの役所で抗議をすると、どこでもこのように「脅す」のが常套手段です。

この時は口頭で適当に金額を言い、

係官がそれを自分のメモに書いて終わりました。この様なきわめて無駄なやり取りが、時として生じます。入国管理で所持金を聞かれた場合には、正式な記入用紙を要求するのが筋です。ただし、その様な用紙は存在しません。この近辺ではロシアを旅行する以外は、そのような外貨所持証明書を四六時中持ち歩く必要はありませんが、ハンガリーでは思い出したように係官が聞いてくる場合がありますから、その時は記入の用紙を請求しましょう。

△不当な扱いには抗議を▽

ハンガリーの役所にはまだ権威主義的なところが残っています。国の権威で横柄な態度に出たりやアジア人に対して差別的な扱いを行うことがあります。それに対して大人しく従うのではなく、必要な抗議は行いましょう。それによって、ハンガリー側の対応も異なってくる。大人しい者に対してはより権威主義的に振る舞います。

末端の係官はかなり恣意的に動いて

いることがありますから、場合によっては上司と直談判するか、それでも駄目な場合には、係官の名前を控え、管轄官庁、大臣に抗議することも必要です。

△日本はハンガリーの債権者▽

ハンガリーの累積対外債務の3分の1は日本からの借金。債権者の財布をチェックするなどの所業はきわめて無礼。日本からの観光客を積極的に誘致しようとするハンガリー政府の計画と合い入れないことです。

頭の固いお役所の考えを変える意味でも、言うべきことは言いましょう。

## 「抗議文への返答」

内務省内務警察国家副書記から会見したい旨の連絡があり、5月16日国家副書記と国境警備局次長と会談する機会がありました。先方から空港における不快な出来事への謝罪があり、その

後、内務省が国境管理で行っている改善措置、係官の教育について説明がありました。

当方からは、抗議の意図を説明し、とくに入国管理のボックスの速やかな廃止を提唱しました。また、先週ハンガリーテレビで報道されたような、空港係官が旅行者などから金品を取得している業務横領事件について尋ねたところ、5月1日より空港係官に対する捜査が始まっているとの返答を得ました。

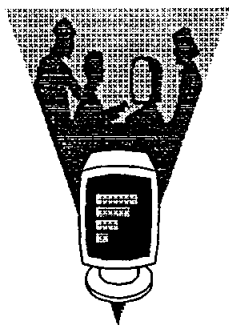
国家副書記から、今後、同様の事態が発生した時には、正確な時間と場所係官ナンバー（制服の胸に添付）を伝えて欲しい旨の要請がありました。

今後、特別に不審な旅行者でない限り、現金チェック等という検査は控えられると思いますが再発した場合には係官の言動に注意し、係官の名前、係官ナンバーを控えておいて下さい。

# 掲示板

為IBMコンパチ機上にインストールできる日本語版ソフトを、日本の定価でお渡しします。(ただし、在庫の1セットのみ)。DOS-IV、ウィンドウズ、オフィスセット(エクセル、ワード)。海外オフィスセット(インシュアライヤの最新製品です。インストールは別途料金で可。ただし、現在の在庫は1セットのみ。取り寄せは2週間。新たな取り寄せは、2割ほど高くなる見通し。

詳細希望の方は、編集部まで。



会お売りします!

13区 Baken 73㎡。築約6年。

フラット、日当たり良好。2+1/2ルーム。フロ어링。バス、トイレ、キッチン。裏に、大きな子供の遊び場有り。買い物便利。5百万フォリント(又は日本円)にてお売りします。値段は交渉にも応じます。

詳細希望の方は、編集部まで。

編集室

原稿をお寄せください。

TEL/FAX...26614967

(盛田 常夫)

